



## 2. 基本方針・施策体系別主要事業

安全安心な水道水を安定して供給するため、既存施設の計画的、効率的な改良更新を行うことはもとより、湧水や地震等災害時に強い、信頼性の高い水道を目指します。また、水道に対する多様化するニーズを反映した、質の高い給水サービスを提供します。

(1) 水道施設の改良・更新に併せ、耐震化を進めます。

\* ( )内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	24年度	23年度	説明
1	総	水道施設整備事業 〔水道計画課〕	8,429,660	7,485,229	水の安定的な供給を図るための施設整備の推進

## 3. 行財政改革への取組

(1) 計画的な施設整備の推進

今後、水需要の増加が期待できない一方で、水道施設整備事業には多額の財政需要が見込まれることから、中長期的な財政収支見通しに基づく計画的な施設整備を推進していきます。

特に、事業の財政基盤を長期的に安定させるため、借入金である企業債の残高縮減に努め将来の金利負担の軽減を図ることで、更なる事業経営の健全化に努めます。

会計名	水道事業会計		予算額	44,005,580
局/部/課	水道局/業務部/水道財務課		〔財源内訳〕	
予算書	水道事業会計予算書		1款 水道事業収益	
<事業の目的・内容> 安全で良質な水道水を安定して供給するとともに、地震や濁水等の災害にも強い「市民生活を支えるたくましい水道」をつくっていきます。 また、健全な経営と効率的な施設運営のもとに、利用者の視点に立った質の高い給水サービスの提供を行います。			1 営業収益 31,300,114	
			2 営業外収益 59,883	
			3 特別利益 1,105	
			1款 資本的収入	
			1 企業債 2,302,000	
			2 負担金及び寄附金 1,662,513	
			3 補助金 10,000	
			前年度予算額	44,436,901
			増減	431,321
<主な事業> 1 水道施設整備事業 8,429,660 重要なライフラインとしての効率的かつ安定的な給水を確保するため、老朽水道管の更新事業を中心とした水道施設整備を計画的に推進する。				
(1) 地下水源整備事業 235,448 老朽化した深井戸の改良、更新を行い、地下水源の保全と有効活用を図る。 ・深井戸のさく井 ・深井戸の改修、洗浄				
(2) 拠点施設整備事業 946,293 配水ポンプや電機設備など、老朽化した配水施設の計画的、効率的かつ効果的な改良、更新を推進する。 ・配水池整備 ・配水ポンプ更新 ・受配電設備更新 ・機場監視制御盤更新 ・浄・配水場監視カメラ整備				
(3) 配水ブロック整備事業 1,263,323 効率的な配水制御とともに、水質管理やバックアップ機能の強化を図るため、給水区域の配水ブロック化を推進する。 ・配水幹線整備 ・配水支管整備				
(4) 配水支管整備事業 1,152,018 道路内における輻そう給水管の解消など、安定給水のための配水支管整備を推進する。 L = 13,500m ・公道部配水支管整備 ・私道部配水支管整備				
(5) 老朽管更新事業 4,384,152 老朽管の計画的な布設替えにより、漏水や事故防止に努め、安定した給水を図る。 L = 34,000m ・配水幹線更新 ・配水支管更新				
(6) 耐震化事業 448,426 水道の基幹施設である浄・配水場施設の耐震補強や水道管路の耐震化を進める。 ・施設耐震化				

( 職員人件費については、P.510に掲載しています。 )